

研究課題：単一症候性夜尿症におけるデスマプレシン有効性に影響する因子の検討に関する研究実施計画書

1. 研究の目的

単一症候性夜尿症(MNE)に対する薬物療法の第一選択治療はデスマプレシン（DDAVP）であるが、低膀胱容量の患児に対する有効性は乏しいと報告されています。本研究はDDAVPの効果を予測する低膀胱容量の定義を明らかにすることを目的としました。

2. 研究の方法

2013年10月以降、当科でDDAVP単独治療を開始されたMNE患児を対象とし、DDAVP投与1ヵ月後の有効性と、治療前の機能的膀胱容量との関連について後方視的に検討します。

3. 研究期間

2013年10月～2020年3月

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録をもとに、治療前後の夜尿の頻度、排尿量、尿検査などの情報を集めます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

個人情報には匿名化して管理し、研究の終了後すみやかに破棄します。第三者への資料・情報の提供は行いません。研究成果は学会および誌上で発表し、公表しますが、被験者を特定できる情報は使用しません。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 腎臓科 医長 仲川 真由

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と

しませので、2020年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）